

ふるさと情報センターを開催しました

東京銀座で小野町の暮らしをPR

2月20日、3月15日の2日間、東京銀座にある「ふるさと暮らし情報センター」にてふるさと暮らしセミナーを開催しました。東京周辺より、田舎暮らしに関心のある方々がセミナーに参加しました。

セミナーは、福島県、小野町ふるさと暮らし支援センター及び町が協力して開催したもので、当日は福島県や小野町の地理的特徴や生活の様子、支援の状況について説明を行いました。3月のセミナーでは、三春町も参加して、田村郡のPRを行いました。

小野町に既に移住している方々との懇談会では活発に意見交換が行われ、個別相談会では土地の購入や空き家に関する具体的な質問が出るなど、参加者の皆さんの田舎暮らしに対する関心は大変高いものでした。

今後もこのようなセミナーを開催し、小野町のPRを行うべく予定しています。



セミナーの様子

おなごの森公園10周年!!

5月4日(日)オープンゲイメント開催!

平成20年4月1日より、「緑とのふれあいの森公園」の管理運営を、町から同施設の指定管理者に指定された日本全業工業株式会社が行っています。

開園10年目を記念し、オープンゲイメントを開催いたしますので、ぜひお越しください。

◎開催日 平成20年5月4日(日)

◎場所 緑とのふれあいの森公園

◎イベント内容
 午前10時〜 ヤギミルク飲ませ体験
 午前11時〜 講演会「自然に親しむ」

講師:小荒井実さん(福島県環境アドバイザー)

正午〜 「まんがご」 試食会もちつき大会
 午後1時〜 ミニコンサート(小野混声合唱団)
 午後2時〜 木の実クラフト体験

◎参加費 無料

◆問い合わせ 日本全業工業株式会社

TEL 024-945-2307
 FAX 024-946-0923



ふるさと小野町会 ふれあい通信

兄ちゃんと食べた支那そばの味

遠藤 正子

(飯豊出身・埼玉支部)



です。全国で一番小さな市と言われている人口14039人の蓮田市に住んで32年、今月の「広報はずだ」によると人口64152人だ。42年前の小野町の人口はどの位だったのだろうか、などと思いつながら故郷の広報と地元へのPRを心待ちにしています。

また新幹線や東北道、常磐道も開通してない昭和42年に17歳で東京して、福島のご出身が聞かれる度に、郡山のはずれと云っていた。小野町を知らない人でも郡山と云つと「あー郡山なら知ってるよ」と言われるので分かりやすかったです。最近磐越道の小野インターのお陰でだいぶ知られてきた。雪のため小野インター通行止めのニュースが流れると、知人から電話やメールで小野町雪が降ってるよと連絡が入る。小野町の人テレビに出てくるから早くてテレビつけてとか、夏井の千本桜見てきたけど見事だったよ、と言われると自分がほめられているようで、何だか嬉しい気持ちになる。毎月届く「広報おのまち」が楽しみ

帰省の時に元の専売公社の前を通ると子供の頃楽しみにしていた「納付」の時を思い出します。生まれた時から常に葉タバコの中で生活をしていたので、時にはタバコを作らない家の人がうらやましいと思つたこともあった。でも「納付」の日には子供も新町に連れて行くのもうれしかったので、嬉しくて学校から急いで帰る。「納付」の日だけ食堂で食べさせてもらえる年に度の大イベントなのです。専売公社の近くにあって「つごや食堂」に入り「好きな物を食べていざ」と兄ちゃんが言う。何を食べようかと気合を入れて行くのだが、いつも食べるのは支那そばだった。やたらと大きく見えたどんぶり、スープの上には、のり、シナチク、なると、最後に味わって食べる2枚の焼豚。胡椒を振りかけると鼻に抜ける感じが、これは大人の味だと感じとった。子供の頃食堂で食べる番のご馳走だった支那そば、その時の支那そばの味は今でも懐かしい思い出の味です。